

# EA21 環境活動レポート

2017年度版

《2017年2月～2018年1月》



株式会社 石崎製作所

発行日：2018年2月15日

作成：高田政行・野上英明



株式  
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

## I 事業活動の概要

事業所名： 株式会社 石崎製作所

代表取締役： 石崎 一徳

所在地： 本社  
東京都台東区今戸1丁目5番19号  
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

環境管理責任者： 高田 政行

環境事務局： 野上 英明

連絡先： TEL:03-3871-1861 FAX:03-3874-8620  
e-mail:nogami@ishizaki-ss.com

事業概要： 金属・加工金属製品等製造業

事業規模： 資本金 1,000万円

社員数 33名

事業所数:2力所

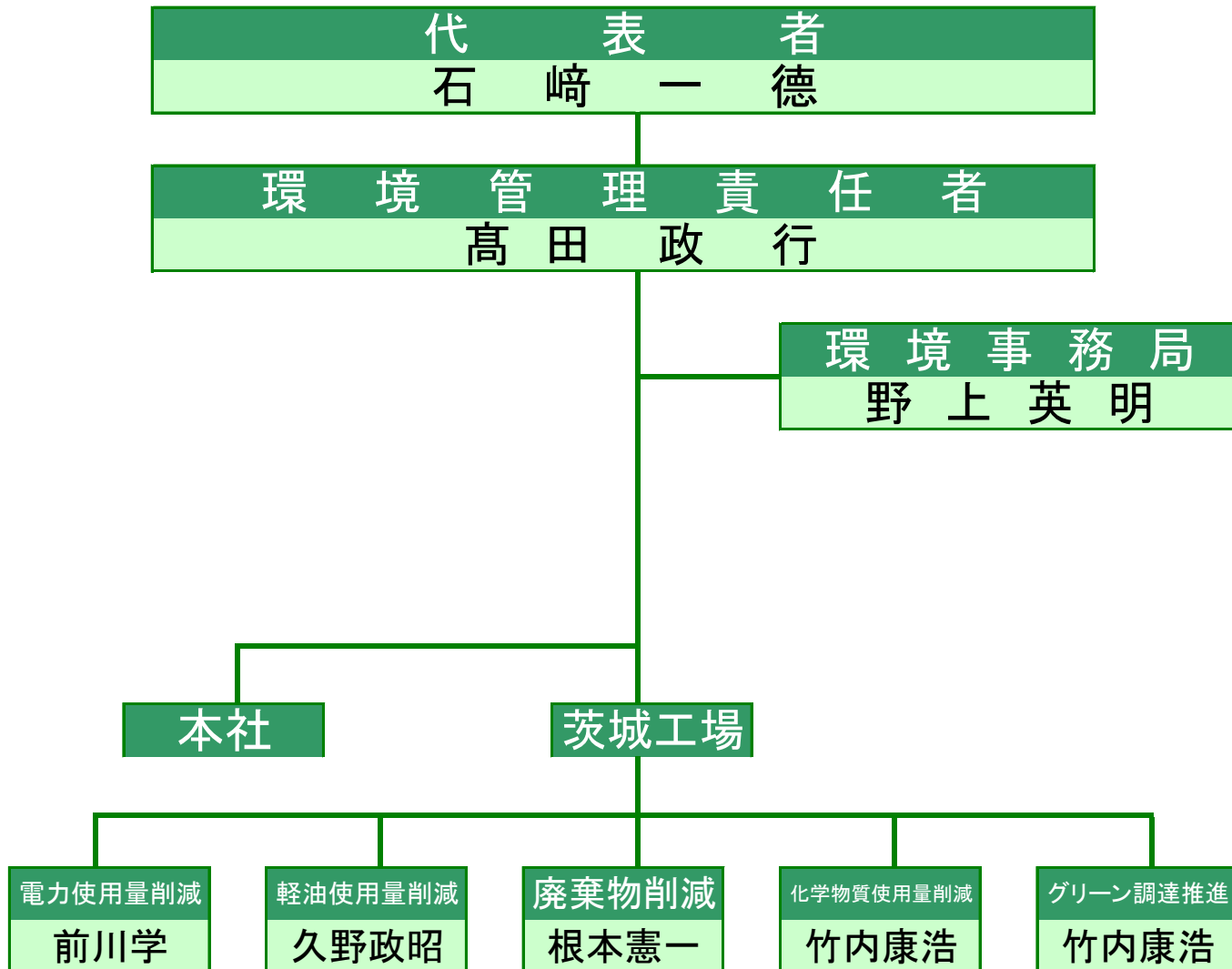
本社  
東京都台東区今戸1丁目5番19号  
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

茨城工場  
茨城県小美玉市部室1199-12  
TEL0299-48-0273 FAX0299-48-0388

対象範囲:全組織、全事業所

# 株式会社石崎製作所 環境経営組織図

作成日：2017年3月21日



代表者：	基本方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	環境管理責任者の任命
	代表者による全体の取り組みの評価と見直し
	環境活動レポートの承認
環境管理責任者：	EA21の統括、代表者への報告。EA21環境会議実施、環境活動レポートの作成
環境事務局：	環境管理責任者の補助。EA21の維持、管理、データ集計。
電力使用量削減担当者：	削減の為の方法の検討。
軽油使用量削減担当者：	軽油使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。
廃棄物削減担当者：	削減の為の方法の検討。
化学物質使用削減担当者：	科学物質使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。
グリーン調達推進担当者：	エコ商品の調査、従来品との比較。削減の為の方法の検討。



## Ⅱ 環境保全方針

# 環境保全方針

### 《 基本理念 》

(株)石崎製作所は事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を考え、環境にやさしい製品作りに重点を置き、得意先様ひいては社会に貢献することを目標とし、環境保全に努めるものとする。

### 《 基本方針 》

1. 次の環境保全の重要項目に対して環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行います。

- ① 二酸化炭素排出量削減(電力、燃料消費の削減)
- ② 廃棄物の排出抑制と適正処理(一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減)
- ③ 化学物質使用量の削減
- ④ グリーン購入の推進
- ⑤ 水使用量の削減
- ⑥ 環境に配慮された製品の製造

2、環境関連の法規則、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3、この環境保全方針を全従業員に周知し環境教育活動を推進します。

平成25年6月26日

株式会社 石崎製作所  
代表取締役 石崎一徳



株式会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

## III 環境目標と実績

①中・長期目標 ※基準年は2016年2月～2017年1月

取り組み項目	2016年度(基準年度)	2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	52,333	1%減	1%減	1%減
①電力消費量の削減(kWh) (CO2) (kg-CO2)	71,034 30,474	1%減	1%減	1%減
②化石燃料使用量の削減(ℓ) (CO2) (kg-CO2)	8,736.40 21,859	1%減	1%減	1%減
水使用量の削減(m <sup>3</sup> )	256	1%減	2%減	3%減
一般廃棄物の削減 (40ℓ袋)	1,119	1%減	1%減	1%減
グリーン調達の推進	1点	他の項目を1点追加	他の項目を2点追加	他の項目を3点追加
化学物質使用量の削減(kg)	250	1%減	2%減	3%減
環境配慮製品の提案(件)	1件	1件	1件	1件

※排出係数は0.425Kg-CO2/kwh

※環境目標、活動計画経営環境の変化に応じて随時改定可能とする

②目標達成状況

※基準年は2015年2月～2016年1月

※環境配慮製品の製造(切替提案)については今後推進していくので表記はしない。

《 全 社 》

取り組み項目	基準年(2016年度実績)	2017年度目標	2017年度実績
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	52,333	51,809	53,188

《 本 社 》

取り組み項目	基準年(2015年度実績)	2017年度目標	2017年度実績
ガソリン燃費向上(km/ℓ)	20.8	21.3	21.1

《 茨城工場 》

取り組み項目	基準年(2016年度実績)	2017年度目標	2017年度実績
電力消費量の削減(kWh)	66,636	66,636	71,227
軽油燃費の向上(km/ℓ)	8.9	9.0	9.0
一般廃棄物の削減(40ℓ袋)	1,119	1,108	1,119
水使用料削減(m <sup>3</sup> )	256	253	213
化学物質使用量の削減(kg)	250	243	100

《 納場A.C. 》

取り組み項目	基準年(2016年度実績)	2017年度目標	2017年度実績
電力消費量の削減(kWh)	2,052	2,011	2,396
水使用料削減(m <sup>3</sup> )	21	21	18

※納場A.C.は2017年8月から茨城工場へ統合されましたので基準データは2016年2月～2016年7月までの数値とし、目標、実績は2017年2月～2017年7月までとします。



## IV 主要な環境活動計画の内容

### ①電力使用量削減

- デマンドシステムを利用した電力の見える化
- 事務所・現場等の昼休み時間の消灯
- 空調設備を定期的に清掃・点検する
- 空調設備の過剰使用をさけ適切な温度を保つ
- 昼休み時、事務所の空調を切る
- トイレ不使用時の電気の消し忘れ撲滅
- 作業を離れる際は電気設備のON・OFFをこまめに行う。

### ②ガソリン・軽油使用量の削減

- 燃料給油・走行距離数のチェック表を作成・記入する
- 急発進急加速の禁止を遂行する
- オイル交換等、定期的な車両の整備を行う
- 効率的な配送ルートを計画・実行する
- 空気圧のチェック

### ③一般廃棄物の削減

- ミスプリント等の裏面利用
- ごみの持ち帰り推進
- 廃ダンボールを業者に引き取ってもらう。

### ④水使用量の削減

- 小まめな開閉(流しっぱなしにしない)
- 節水の啓蒙活動

### ⑤グリーン調達推進

- エコ商品の調査、従来品との比較・検討して購入稟議をする

### ⑥化学物質使用量の削減

- 社外へ依頼できる脱脂製品は社外へ依頼する
- プレスオイルの変更(揮発性の高いオイルへの変更)

### ⑦環境配慮製品

- クロムフリー材への切替提案



## V 環境活動の取組結果の評価・次回取組内容

### (1) 環境への負荷低減や管理への評価

- ① 電力使用量について、デマンドシステムの有効利用継続。  
納場A.C.の茨城工場への統合を行った為、人員の増加に伴い電気使用量が増加。  
作業場の電気を一部LEDに変更しました。工場全体への導入を検討して電力使用量を下げる取り組みをして行く。
- ② ガソリン、軽油の使用量については昨年度から燃費向上の取り組みをしてきました。  
目標の設定を高くし過ぎた為、目標未達の月が増加しましたが基準年より燃費が向上してきていますので引き続き工夫をして使用量の軽減を計ります。
- ③ 一般廃棄物削減については裏紙利用の習慣がついてきました。  
廃段ボールはリサイクル業者に持ち込む等継続しています。  
昨年同様ゴミ袋の使用量が増加しています。ゴミの詰め込み量の見直しと、ごみの持ち帰り、弁当持参など、従業員に再周知して削減していきます。
- ④ 水使用量については昨年から8.9%の削減が出来ました。  
基準も新たに設けましたが節水の周知・喚起が上手く出来たと考えられます。
- ⑤ グリーン調達実績は追加する事が出来ませんでした。計画段階で漏れていたことが原因です。計画段階で確認作業を行い漏れの無い様に取り組みます。
- ⑥ 化学物質使用量削減についてはトリクレンの再生品使用を継続できました。  
また、大幅に削減できた要因はプレスオイルを揮発性の高いオイルに変更することで洗浄作業が大幅に削減する事が出来ました。
- ⑦ 本年度もクロムフリー材の購入量が増えて鍍金量は変化がありませんでした。

### (2) 環境マネジメントシステム導入の評価

法規制への対応や環境への配慮及び電力使用量、燃料使用量などのデータをとり見える化をして今後の環境活動への意識の向上に繋げる。

### (3) 次年度の取組内容

今年度の取組内容を引き続き実施、必要に応じて基準年の見直しをする。



株式  
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

## VI 環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

①適用される主な環境関連法等の遵守状況の確認及び評価  
環境管理責任者により問題ないことを確認した。

### ②違反・訴訟等

2017年度において環境関連の違反、訴訟等は過去3年間ありません  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去ありません。

## VII 代表者による全体評価と見直しの結果

ガソリン、軽油等の使用量については燃費向上の取り組みした結果0.9%使用量を抑える事が出来たのは燃費向上や空気圧チェックの意識付けが習慣になってきたことが良い結果に繋がったと思います。

また、プレスオイルを揮発性の高いオイルに変更することにより、トリクレンを使用した洗浄作業が使用量激減の成果だと思われれます。

しかし、昨年同様電力使用量、一般ごみ排出量増加を抑える事が出来なかった要因は納場A.Cが茨城工場へ統合され工場内の電気使用量が増加したと推測できる。工場内の電気のレイアウトやLED化を検討していくとが必要になると思います。

また、ゴミ袋の増加については1袋あたりの投入量に差があるのではないかと考えられます。投入量に差があると正確な使用量が把握できないので全従業員と認識を合わせて正確な排出量が計測できるようにします。

また、前年度同様、生産性向上に繋がる5S活動を主軸として環境活動に結び付く様な仕組みを作り取り組んでいきます。